

足の大きさをはかる用紙

子供くつNavi

箱ティッシュ 2 箱で足をはさんで、足の長さ足幅を測ります。目盛りの数字は cm です。

A4 の紙に、実際のサイズ（100%）で印刷してください。用意するものは、この用紙と、箱ティッシュ 2 箱です。中身が半分以上残っている箱を使ってください。ビニール包装のソフトパックは形が崩れるので使えません。

cm

21.0

20.5

20.0

19.5

19.0

18.5

18.0

17.5

17.0

16.5

16.0

15.5

15.0

14.5

14.0

13.5

13.0

12.5

12.0

11.5

11.0

10.5

10.0

3

2 つ目の箱をいちばん長い指の先に当てます

4

箱のふちの真上から見て、左の目盛りのどこにあるかを読みます。
これが足の長さです

指先が 10.0 の線に届かない小さな足は、まだ調べられません。調べられるのは、足の長さ 10.0～21.0cm です。

2

かかとを箱につけて、まっすぐ立ちます

5

足幅：「足幅の線」に箱をそろえて置き、足の横側を箱につけて立ちます。反対側からもう 1 つの箱を当て、箱のふちを下の目盛りで読みます

足幅の線

ここに箱をそろえます

0

1.0

2.0

3.0

4.0

5.0

6.0

7.0

8.0

9.0

10.0

11.0cm

1

1 つ目の箱を、この太い線にぴったりそろえて置きます（ここが 0 です）。箱は、いちばん大きい面を下にして置き、長い側面を線にそろえます

最初に、印刷の大きさを確かめます

クレジットカードやポイントカードを、この青い枠に重ねてください。

カードと枠の大きさが同じなら、正しく印刷できています。

大きさが違うときは、印刷の設定で「実際のサイズ」または「100%」を選んで、印刷し直してください。

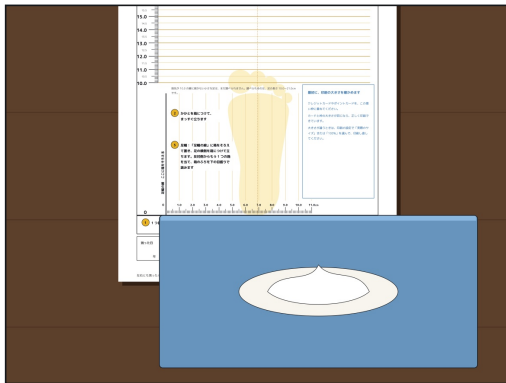
測った日	足の長さ (cm)	足幅 (cm)
年 月 日	左足	
	右足	

左右とも測ったら、足の長さは長いほう、足幅は大きいほうの数字を、子供くつNavi の「サイズを調べる」に入力してください。測り方の絵は 2 ページ目にあります。

測り方（5分ほど）

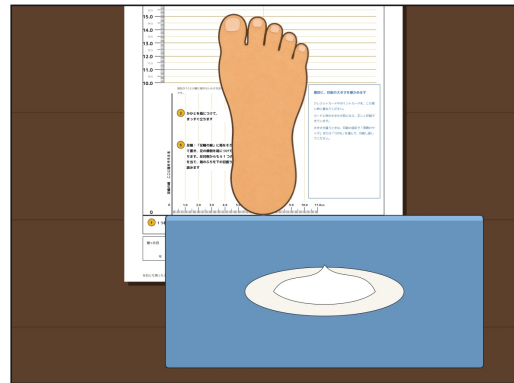
かかとと指先に箱を当てて、箱と箱の間の長さを目盛りで読みます。これが「足の長さ」です。足幅は、足のいちばん幅の広いところ（親指と小指の付け根のあたり）の幅で、足の両側に箱を当てて同じように測ります。

1～4で足の長さを、5で足幅を測ります。番号は1ページ目に書いてある番号と同じです。測る前に、1ページ目の青い枠で印刷の大きさを確かめてください。



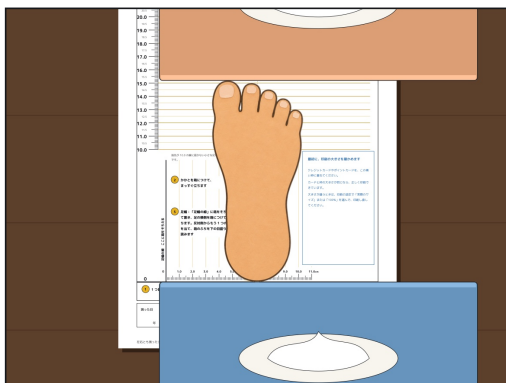
1 箱を置く（足の長さ）

硬くて平らな床に用紙を置きます。箱ティッシュを1箱、下の太い線にぴったりそろえて置きます。箱は、いちばん大きい面を下にして置き、長い側面を線にそろえます。



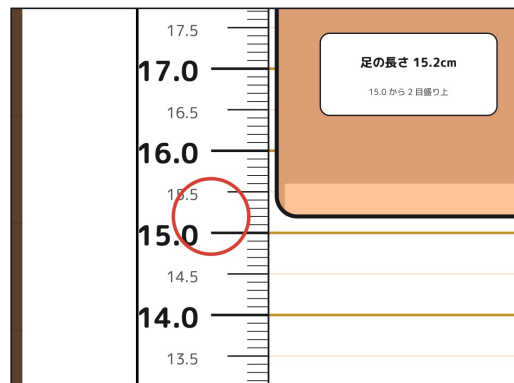
2 かかとを箱につけて立つ（足の長さ）

靴下を脱いで、かかとを箱につけて立ちます。両足に同じくらい体重をかけてください。用紙の足の絵に足を重ねると、位置を合わせやすくなります。



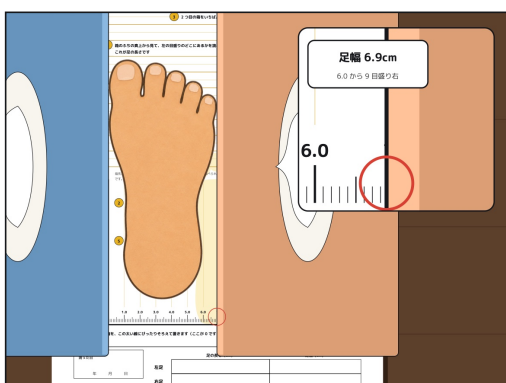
3 2つ目の箱を指先に当てる（足の長さ）

もう1つの箱を上から下ろして、いちばん長い指の先に軽く当てます。このとき、かかとと側の箱は動かさないでください。



4 数字を読む（足の長さ）

2つ目の箱のふちの真上から見て、左の目盛りのどこにあるかを読みます。この絵では15.2cmです。これが足の長さです。読んだ数字は、1ページ目の下の記入欄に書いておきます。



5 足幅を測る

用紙の左下にある縦の太い線（「足幅の線」と書いてある線）に、箱をそろえて置きます。足の横側を箱につけて立ちます。かかととは下の目盛りにかからない位置にします。もう1つの箱を反対側から足に当てて、箱のふちが下の目盛りのどこにあるかを読みます。この絵では6.9cmです。

うまく測るコツ

- ・左右の足を両方測ってください。左右で大きさが違うことがあるので、足の長さは長いほう、足幅は大きいほうの数字を使います。
- ・二人で測ると楽です。一人がお子さんの体を支え、もう一人が箱を当てます。
- ・数字を読むときは、箱のふちの真上から、目盛りをまっすぐ見下ろしてください。斜めから見ると、ずれて読んでしまいます。
- ・お子さんが動いてしまったら、箱がずれていないか確かめてください。ずれていたら、置き直してから測り直します。
- ・足幅は、右足も左足も同じ線と目盛りで測れます。足のどちらの側を箱につけてもかまいません。箱は足に軽く当てるだけに、強く押さないでください。